



伊勢神宮を参拝

平成30年3月1日に福岡県にあり宗像大社を参拝させていただいて、早いものでちょうど6ヶ月が経過した日、私は秋風が吹く札幌から伊勢市に赴き伊勢神宮（神宮）に参拝させていただいた。昨年の年末に神棚から出した角祓大麻をお返しに向かったのである。この頃は時間的な制約があつたことから、本来であれば避けるべきだと言われている「片詣り」が続いていた。しかし、今回は久しぶりに外宮から内宮に向かい「片詣り」から脱することことができた。正月にNHK だつたと思うが伊勢神宮の周り方を放映していたことも大きく影響している。

参拝させていただいた当日は、今までの長きにわたる参拝の中でも一番の暑さだったと思う。何度も次々に汗が流れ落ちていた。このコラムでも何度か記しているが、内宮であれば、最初にまず瀧祭神を参拝し、そこで住所と名前をしつかりとお伝えし、お取り次ぎをしていただいたが、外宮では瀧祭神と同様のお役目を担つてゐる祠が見当たらなかつた。火除橋

を渡り、手水舎でお清めをした後にあれこれ周りを眺めてみたがやはり見つからない。そこで、致し方なく四至神、古殿地、正宮と順々に参拝させていただき、最後に平清盛が勅使として外宮を参向した際に自らの冠に枝が触れたことに怒り、その枝の一部を切らせたという逸話がある「清盛楠」の前でゆっくりと立ち止まつた。一株の大木といわれているが、やはり、ゆっくりじつと見ても2本に見える。

その後、内宮にバスで移動し、いつもどおりの順番を経て正宮を参拝させていただいた。しかし、今回は、正宮参拝後、正宮の後方に鎮座する荒祭神に初めて参拝させていただいた。これまで、外宮も内宮もそれぞれの正宮を参拝させていただいた。境内の大きさなどは千差万別であるが、どのような大きさの神社であつても、どうぞ多くの日本人が周りで参拝していただくなれば、個人的なお願いはせず、ただただ参拝させていただく機会を与えられたことだけに感謝し続けてきた。ところが、正月のNHKの番組にて、外宮にも内宮にも個人的なお願ひをしてよい場所があることが分かつた。具体的には内宮では荒祭神であり、外宮では多賀宮だと言われている。伊

日本全国津々浦々どこの神社でもそうであるが、自分と神との対の関係を強く感じながら参拝させていただけてきた。境内の大きさなどは千差万別であるが、どのくらいにしてもある意味で憐れな姿である。

確かに、日々堂々巡りをしているに過ぎない自分がいる。幼児の時から改善できないことのほとんどがいまも同じである。いつも同じことを反省して四苦八苦している。何か具体的に目に見える形での進展もないが、わずか1日でも半日でも日々の環境から意識的に離れるることは大切なことだと思う。